

科目区分	専門教育科目	科目名	家庭支援論		科目コード	50313	担当者	平山 由美子	
対象学生	幼児教育学科1年生	学期区分	後期	単位数	2	卒業要件	選択		
						免許・資格要件	保育士資格必修		
科目の主題						成績評価の方法と割合			
多様な家族の問題や支援のあり方を学ぶことで、人格の基礎となる子育ての重要性を認識し、母親、社会人として生きていくための教養が身につくとともに、保育者としての保護者支援の考え方・技術を身につける。						提出物（80%） 受講態度（20%）			
						教育目標に基づく学修成果の到達目標			
						誠実な人柄と人間力（尽心）	高度な知性と創造力（創造）	明確な意志と実践力（実践）	
1.	子育ての重要性と家庭の意義について理解する					○	○		
2.	子育て家庭を取り巻く現状等について理解する							○	
3.	子育て家庭を支援する制度について理解する							○	
4.	子育て家庭のニーズに応じた多様な支援と社会的資源の活用及び連携について理解する							○	
5.									
授業方法									
講義形式が主であるが、学生自身の考えが深まり、具体的対応や支援ができるようにするため、多様な事例や課題を取り上げたミニレポート作成や協議の場も設定する。									
子育てや児童虐待をはじめとする家庭問題に関心を持って報道等の情報収集を行い、授業で発言できるよう準備すること。									
授業計画									
第1回	オリエンテーション（自己紹介、学生に期待すること、講義の進め方や心構え）								
第2回	1-①発達における子育ての重要性と家庭の意義								
第3回	1-②子どもの成長と親子関係に必要な「愛着」の重要性について								
第4回	1-③家庭支援の必要性と保育者が行う保護者支援								
第5回	2-①家庭生活を取り巻く社会的状況 ①現代家庭の人間関係								
第6回	2-②家庭生活を取り巻く社会的状況 ②地域社会の変化と家庭支援								
第7回	2-③ 家庭生活を取り巻く社会的状況 ③男女共同参画社会とワークライフバランス								
第8回	2-④ 家庭生活を取り巻く社会的状況 ④一人親家庭や養育機能不全家庭								
第9回	2-⑤ 家庭生活を取り巻く社会的状況 ⑤児童虐待とDV・ストーカーなどへの対応								
第10回	2-⑥ 家庭生活を取り巻く社会的状況 ⑥児童虐待とDV・ストーカーなどへの対応								
第11回	3 発達障害や子どもの病理等について								
第12回	4-① 多様な支援策 ②子育て支援サービスの概要と保育所や地域の中での支援								
第13回	4-② 多様な支援策 ②要保護児童等への支援と関係機関との連携								
第14回	5 保護者等からの悩み、相談の対応について								
第15回	学習のまとめ（家庭支援の考え方・技術等について協議する）								
					受講生へのメッセージ				
本職が準備した資料などを活用する。					人が人として生きていくためには、心から愛されたという実感がないと生きていけません。しかしながら現代ではその実感を持ってないまま、母親になるケースが多く、そのため児童虐待等の問題が後を絶ちません。子どもに「愛着」を感じさせ、豊かな人生を親も子も歩んでいくための学びを、まずは保育者を志す皆さんにしっかりと実践して欲しいと思います。				